

平成 27 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基 本 目 標 1 健やかな暮らしを支え、安全で快適に暮らせるはつかいち
政 策 目 標 3 やさしい心で支え合い、健やかに暮らせるまちに
重 点 的 取 組 1 人権を尊重し、一人一人の存在が認め合える環境を整える

担当課名		自治振興部 地域政策課	
予算科目目	予 算	01	一般会計
	款	09	教育費
	項	05	社会教育費
	目	03	公民館費

事業名	公民館平和教育推進事業	事業開始年度	平成 13 年度
	はつかいち平和の祭典	根拠法令 条例 個別計画等	社会教育法 廿日市市教育振興計画 協働によるまちづくり基本条

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	市民	市民の手による平和事業を実施することで、生命の大切さを学び、平和についての意識高揚をはかるとともに平和を築くための行動を市民一人ひとりが考え実践する意識を高めることを目的とする。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	市役所(職員)の役割	関係団体(パートナー)	関係団体(パートナー)の役割
市(公民館連合会)	平和学習の推進 事業全般のコーディネーター 事業の実施	平和の祭典実行委員会 平和の祭典参加者	よりよい事業への提案 事業への協力

3 平成 27 年度 予算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

活動内容

☆事業の内容

・市が平和の祭典実行委員会に委託して実施

①平和の祭典（ステージ）

市民による歌、演奏、朗読などのステージ発表により、平和について考える。

②書き損じハガキ回収運動

書き損じハガキを各市民センター、市役所、支所で回収し日本ユネスコ協会を通じて募金

③折り鶴運動

市民の折った折鶴を各市民センター等を通して集め、平和記念公園内に献納

④平和学習

戦争にまつわる映画鑑賞、戦争の体験談を聞くことなどで、戦争の悲惨さや平和について学習

・実行委員会の開催（年12回）

はつかいち平和の祭典実行委員会（構成員＝市民から公募した実行委員と市民センター職員）が事業の構想、企画立案、出演者の調整、合唱団の募集、コンサートの運営、評価を行う。

・被爆70年記念事業（はつかいち平和の祭典コンサート）の開催

①廿日市市内若手音楽家の平和の祭典への参加

平和の祭典市民合唱団と地元若手音楽家による演奏（高齢者から若者まで平和への気持ちを分かちあう事業の実施）

②合唱の楽譜編曲

平成9年から平和の祭典市民合唱団が歌い続けている市販の楽譜「ふるさとの四季」を合唱団に合わせて編曲する

【歳出】（臨時＋経常）

委託料（平和教育推進事業）760 千円

報償費（地元若手音楽家謝礼等）100 千円

委託料（DVD焼増・楽譜作成）200 千円

【歳出合計】1,060 千円

コスト情報（円）

項 目		平成 25 年度決算	平成 26 年度予算	平成 27 年度予算	
財源内訳	直接事業費 A	800,000	800,000	1,060,000	
	国庫支出金				
	県支出金				
	借入金（市債）				
	その他(使用料など)				
	市（市税など）	800,000	800,000	1,060,000	
人件費（按分） B		3.00 人 25,458,000	3.00 人 25,533,000	3.00 人 25,947,000	
総事業費（A+B）		26,258,000	26,333,000	27,007,000	
単位換算	①人口（4月1日現在）	117,680 人	117,680 人	117,182 人	
	市民1人当たり	223	224	230	
	②				

到達目標

活動及び成果指標		単位	H25実績値	H26目標値	H27目標値	備考
活動成果	平和の祭典（ステージ）出席者	人	603	800	800	
	平和教育推進事業参加者	人	2,669	2000	2000	